

■ グループ紹介

三菱原子力工業(株)

1. 沿革

当社は、昭和33年4月、わが国初の原子力専業会社として設立されました。以来、三菱グループの原子力事業の中心として、原子力平和利用についての開発研究を推進するとともに、米国ウェスチングハウス社と技術提携を結び、原子力発電プラント、船舶用原子炉設備、原子燃料、その他各種原子力関連機器の受注、設計、製作、取りまとめなどを担当してきました。

その後、三菱グループの原子力事業の分業、協業体制への移行に伴い、現在は三菱グループの原子力専門エンジニアリング会社として、発電用原子力プラント・原子燃料・再処理施設の設計・研究開発、原子力関連機器設備の設計・製作・研究開発を担当するとともに、応用分野のソフトウェア開発に努めています。

2. 事業内容

原子力プラントの設計・研究開発

- (1) PWR型原子力発電プラント
- (2) PWR型船舶用原子炉設備
- (3) 高速増殖炉
- (4) 新型転換炉
- (5) 高温ガス炉
- (6) 核融合炉
- (7) その他のプラント

原子燃料の設計・研究開発

- (1) PWR型原子炉用燃料
- (2) その他の炉型用燃料

燃料サイクル関連設備の設計・研究開発

- (1) 使用済み燃料の再処理施設
- (2) ウラン濃縮施設
- (3) 放射性廃棄物処理施設

原子力関連設備の設計・製作・研究開発

- (1) 原子炉制御設備
- (2) 原子炉構成機器及び関連設備
- (3) 核融合関連設備
- (4) 燃料輸送容器
- (5) 燃料取扱設備
- (6) 原子炉反応度計
- (7) 原子炉反応度データ処理装置
- (8) その他の計測機器

応用分野のソフトウェア開発

- (1) AIシステム開発
- (2) コンピュータグラフィックス開発
- (3) その他のプログラム開発

3. 技術開発

安全性及び信頼性向上、稼働率向上、核燃料サイクルの確立など、原子力への社会の要請は極めて多岐に亘っています。当社では、顧客に協力してこれらの要請に応えるため、設計・解析の一層の高度化と研究開発に努めています。

具体的には、プラントの自動設計、データ検索システムなどの各設計ごとのエキスパートシステムや多くのCAE技術を開発、実用化しつつあります。また、プラントや機器の異常診断システム、信頼性解析システム、運転ガイダンスシステム、炉心管理などAI技術応用システムの開発を行うとともに、基礎技術、要素技術の研究開発にも注力しています。

さらに、原子力分野で培った基礎技術と蓄積した設計技術を、エネルギー分野その他一般産業でのシステム設計、安全性・信頼性解析評価、ソフトウェア支援、その他各種のエンジニアリング並びに研究開発などの幅広い分野に活用し、多角的総合エンジニアリング会社を目指しつつ技術分野の拡張と革新に取り組んでいます。

4. 現 況

資本金	45億円(平成元年3月末現在)
従業員	954名()
売上高	137億円(平成元年3月期)
本 社	〒105 東京都港区芝公園二丁目4番1号 TEL 03-433-8251
支 社	神戸支社
研 究 所	大宮研究所、東海研究所
関連会社	コンピュータソフト開発㈱(100%出資) エンジニアリング開発㈱(100%出資)
所在地	〒105 東京都港区芝公園二丁目4番1号 (文責:総務部部长補佐 岩本博安)